

LivePROソフトウェア

「LJ」になって、レーザー・ビームとグラフィック・ライブを演出

現在、DJやVJは、LJとジョイントイベントを行っています。LJとはレーザー・ジョッキーのことで、レーザー・エフェクトを独自にミックスし、音楽に躍動感を与えるための演出をする役割。これらのレーザー・エフェクトをコントロールするため、Pangolinは、LivePROソフトウェアを開発しました。誰でも、ビーム、グラフィック、抽象イメージを作成・合成でき、ミュージシャンがシンセサイザーを操るのと同じ方法で、レーザーを操作できます。まさにLivePROは視覚用のシンセサイザーです。

同時に4つのビジュアル・トラックをレイヤー処理

4つまでのビームとグラフィック・キューを同時にレイヤー処理できます。音楽で言えば、メロディ1つだけを再生する代わりにコードを作成するように、レイヤー処理をすることで、さまざまなエフェクトを同時に再生することができます。

例えば、ビーム・エフェクトをトラック1と2で再生しながら、ミラー・ボール・エフェクトをトラック3で、グラフィック・アニメーションがトラック4で同時再生できます。もしくは、4つの異なるグラフィック・トラックをそれぞれフェードイン、フェードアウトして、1つのスクリーン上で同時に操作することもできます。

1700種類以上のキュー

ミュージック・シンセサイザーに何百ものプリセット・サウンドがあるように、LivePROには1700種類以上のプリセット・キューが登録されています。各キューには、イメージ、2種類のエフェクト、カラー・シーケンス、ビーム・シーケンスが設定でき、どのような組合せの設定も可能です。ミュージック・シンセサイザーを使って、演奏中にサウンドを変更できるのと同様に、LivePROでもショーを行いながら、キューのサイズ、位置、スキャン・レート、カラーその他のパラメーターを随時変更できます。ひとつのキューから別のキューに切り替える時でも、ジャンプカットは不要。モーフィング、フェード、ズームなどでスムーズな切り替えができ、自分でオリジナルの切り替えエフェクトを作成することもできます。

ライブ演出のための レーザー・ソフトウェア・プログラム

Pangolinの主要製品LD2000ソフトウェアには、「Live!」という名前のモジュールがあり、ショーやライブ・ショーのコーナーを開始する時に使うことができます。しかし、LivePROはこれに勝る製品。まるでCDのトラックを選択するのと、シンセサイザーを演奏するような違いがあります。

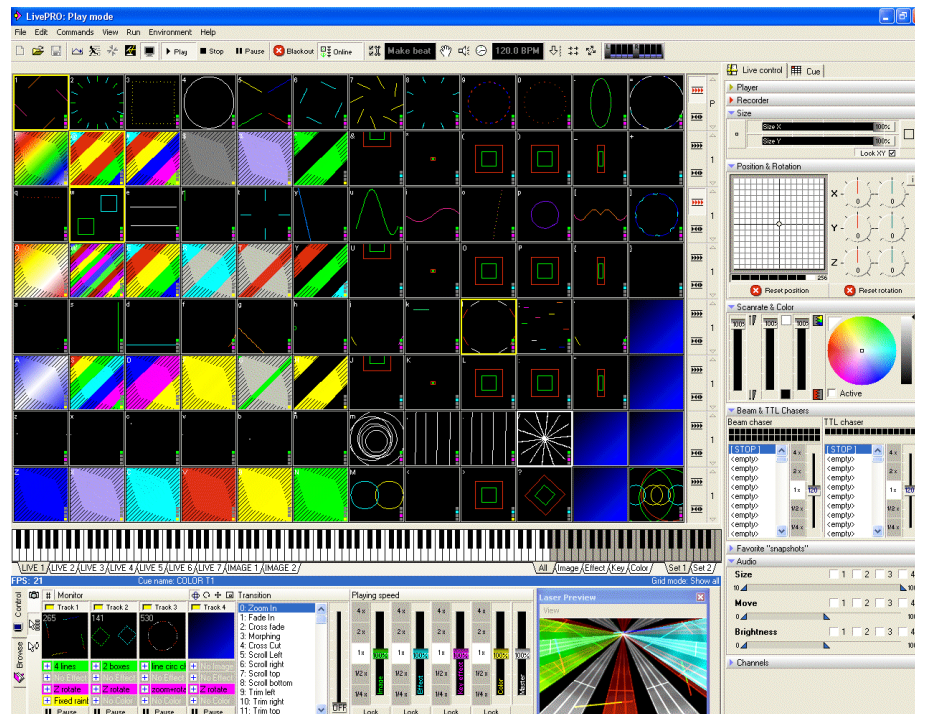
LivePROでは、更なるコントロールやバラエティに富んだ演出が可能。「Live!」ではできないような、ビート自動トラック機能も付いています。

LivePROには無料でPangolinのトップレベルLD2000 Proソフトウェアが付いてきます。LD2000 BasicまたはIntroのユーザーには、LivePROを\$695で提供しています。

ビームとTTLチェーサー

4つのレーザー・トラックに加えて、LivePROには2つの独立したチェーサーも付いています。Beam Chaser (ビーム・チェイサー)は、64個までの異なるミラーをターゲットにでき、TTL Chaserはアクチュエーター付きオプティカル・テーブル用に設計されています。ミラー回転やフォグ・マシンなどの外部エフェクトもコントロールできます。両方のチェイサーで、スピード、方向、パターンやその他のチェイス・パラメーターをコントロールできます。

自動オーディオ、ビート、キューを自由に設定
ライブ・ミュージックでは、ビートが重要なキーポイントです。ビートを聞きながら、コンピューターのキーボード、もしくはその他のコントローラーを使ってLivePROを手動操作しても良いし、LivePROを自動演奏させることもできます。LivePROは、ビートを自動検知して、事前登録したパターンに応じてキューを開始することができます。自動機能を設定中は、追加のパラメーターを手動変更するか、座ってショーを楽しむこともできます。



Pangolin Laser Systems, Inc. レーザー・ショーとディスプレイ用ソフトウェア&システムの世界的リーダー

www.pangolin.com/contact@pangolin.com

(+1) 407-299-2088 phone/407-299-6066 fax/9501 Satellite Boulevard, Suite 109 Orlando, FL 32837 USA